

人材育成の課題

今年6月、上海市人力資源と社会保障局N.E.Tは、昨年上海市で106万7000人が職業能力研修を受講したと報道しました。うち53万4000人が検定を受験したそうです。熟練労働者の需給に格差があり、特に介護含め高級熟練労働者や技師職ではその状況が非常に顕著です。

それを受けてか、市政府は「専門技術力アップのための行動計画(2018〜2021)」を立案し、周知しました。

2021年までに介護などの計10分野の労働者の専門技術を底上げするため、受講者には失業保険基金や就職支援基金などから補助金が支給されます。同市は国際社会で通用する人材を育成し、その技術人材育成の代表都市になるだろうと予想しています。現在上海市の介護職は106万8000人ですが、そのうち初級から高級までのいずれかの研修を受けたのは昨年まででわずか2万2000人です(初級30%・中級38%・高級32%)。これを20年までには3万5000人に増やそうとしています。

過去の記事でご紹介しましたが、これとは別に「养老扨理員(医疗照护)」Ⅱ医療介護ヘルパーを同年までに10万人ま

重視ハードよりソフト

を増やすことを目標としていることも、同市の介護に対する本気度がうかがえる点です。

しかし、市内の施設運営事業の関係者は、介護の専門知識や蓄積されたノウハウの重要性を理解しつつも、コスト面での負担が大きいのと、安価な研修費用でないと予算取りが難しく、政府の助成を活用したりする必要があるので

施設側は研修のためのコストや時間がなく、デベロッパーに至っては、施設を高額で販売するたす。

中国の高齢者マーケット
～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理 稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。